



校長室だより



平成30年7月

半田市立亀崎小学校

発行者：貝 沼 眞 幸

コミュニティスクール

地域全体が『教室』、地域の大人たちが『先生』

亀崎小学校は『学校運営支援協議会』をスタートし、5年目に入りました。亀っ子たちの学習活動、学習環境に対してこの協議会を中心に、様々な団体から支援をいただけてきました。亀崎小学校の教育目標の実現に向けて、地域ぐるみで応援をしてくださっています。

そんな中、半田市はコミュニティスクール制度を平成31年度から導入します。コミュニティスクールとは、「保護者や地域住民の皆さんが教育活動に参画して、みんなで子どもたちを育てていく仕組み」のことです。このコミュニティスクールを機能させるために、【学校運営協議会】を設置し、

学校の方針、年間計画、課題の設定や解決の手立てを考えたり、実践を評価したりしていきます。キャッチフレーズは、「地域全体が『教室』、地域の大人たちが『先生』」です。

【学校運営協議会】の前身として既に充実されているのが現在の『学校運営支援協議会』です。今までも学習支援として伝統文化や書き初め、浜の生物、防災・減災など、地域講師として教えてくださっています。安全支援として登下校時の見守りや避難訓練、救急法の指導、環境支援として夏休み中の草刈り、樹木の剪定など、様々な面から応援をいただけてきました。今後、益々、学校運営に参画していただくために、例えば、本年度は、防災キャンプをこの協議会が主催し、区長会や自主防災会などから支援を受けて、地域を巻き込みながら活動していくことも進めています。まずは、授業を、子どもを、見ていただき、どんな子どもに育てたいのか、どんな学校にするとよいのか共に考えていきます。

亀っ子防災隊 出動！ 亀崎南分団の力強さ

6月3日（日）に半田市消防操法大会が半田市役所職員駐車場で開催されました。地元、亀崎南分団の1号車と2号車の応援に、亀っ子防災隊が駆けつけました。

当日は、市内全18班が出場し、標準タイムを目標にしつつ、規律、正確さなどを競いました。学校では味わえない迫力、緊張感を間近で体感でき、地元消防団の方々の日頃の思いを感じることができました。ありがとうございました。

結果は、亀崎南分団1号車が優勝、2号車が準優勝でした。他を圧倒する、ぶっちぎりのワンツーフィニッシュで、亀っ子防災隊も大喜びでした。県大会での活躍をご祈念いたします。

お知らせです。夏休みの8月24日（金）・25日（土）に、亀崎公民館で防災キャンプ・避難所体験を実施します。どの部屋で宿泊するかお楽しみに。ぜひご家族で参加してください。



二連覇！ 亀崎南分団1号車

がんばりたい… でも不安

校長室前にはポストがあり、1学期にはすでに380通を超える手紙が投函されました。過去最高。どうもありがとう。

「学校たのしいです」「わたしは、にがてだったことがすきになってきています」「わたしは、前まであいさつができなかったけど、今は少しだけあいさつができるようになりました」「わたしは、えいごにきょうみをもっています」「一年生のお手本になれるようにがんばります」「ペアが笑顔になります。とってもうれしいです」



「パティシエールになってケーキを買ってくれた人が笑顔になるようなケーキを作りたいです」「将来の夢は獣医師です。新しい病気を見つけて多くの動物を助けたいです」など。あいさつや水泳など、できるようになった喜びを伝えてくれる子もいます。逆に、「もっと速く走るにはどうしたらいいですか」「ともだちをいっぱい作るにはどうしたらいいですか」「仲よくするにはどうしたらいいですか」など、うまくいかないことや友だちとの関わりで悩んでいることなどを素直に書いてくれる子も多くいます。新しい学年がスタートしたころは、仲が良かった友だちと離れ、心が揺れ動いていた子もいましたが、今は落ち着いたようです。ところが反対に、心身の成長もあり、多くの生活時間、生活空間を共にすることで、自分のこと、相手のことが分かるようになり、自分の弱さを隠したくもなります。多くの子が「がんばりたい」と思って過ごしていますが、学校では思い通りにはならないことも多く、不安や悩みが続くと、他人の「命」への攻撃が始まります。

人の持ち物を隠したり、傷つくような態度をとったり、暴言を吐いたりすることは、満たされない自分を優位にしたい、また、自分の心の弱さを隠すための行動です。他人を攻撃することで自分を守っているのです。実際に毎年のように起きています。学校では道徳を「心を耕す時間」としています。学級や学年、朝会を通じて優しさや思いやり、生命尊重等、命について考えることを繰り返しています。しかし、頭で理解することと行為は別ものです。子どもたちは迷い、悩みながら成長をしています。

昨年度も同様をお願いしましたが、子どもが安心でき心にエネルギーを蓄えることができるのは、大好きな人から「あなたは、私にとって大切な人」と言われることです。間もなく長期の休みになります。折に触れてぜひとも「命」について親子で語り合ってください。

楽しみな夏休み 絶対に無事故！

もうすぐ楽しみにしている夏休みです。日頃できないことにチャレンジできる大切な時間でもあります。また、夏休みの充実が2学期のエネルギーにもなります。そのために次の3つを心がけてください。

1. 事件・事故に巻き込まれない
2. 早起きする
3. 家族とのふれあい・会話を増やす

夏休み中は自由な時間も多く自己責任が伴います。自転車を利用する機会が増え、近年、自転車の事故が多く子どもも例外ではありません。普段とは違う時間帯に、普段とは違う場所へ出かけ、しかも、気分が高揚していることもあるでしょう。マナーや規則を忘れず、自分の命は自分で守りましょう。

【表彰がありました】 受賞おめでとう！よくがんばりました。

○第13回亀崎潮干祭絵画コンテスト

最優秀賞(文部科学大臣表彰) 成田吉輝(5-1) 愛知県知事賞 滝塚ちえり(3-1)

愛知県議会議長賞 千田紗永(6-3) 半田市長賞 隈江萌音(6-1)

半田市市議会議長賞 佐野琉夏(1-1) 半田市教育委員会賞 宇佐友一朗(6-2)

半田商工会議所会頭賞 福井龍ノ介(6-2) 半田山車祭保存会会長賞 榊原 杏(3-2)

中日新聞社賞 石原桃華(6-2) 愛知県神社庁長賞 酒井伸一郎(5-2)

神前神社賞 黒田透矢(5-1) 亀崎地区コミュニティ推進協議会会長賞 千葉夕杏実(6-2)

亀崎潮干祭保存会会長賞 米津拓真(3-1)

入選 山本結子(1-1) 坂部海衛(1-1) 竹内一翔(1-3) 伊藤英奈(2-2) 谷口周平(2-2)

秋田陽彩(3-3) 山形羽乃(3-3) 牧野令依(5-3) 野村咲人(6-3) 竹内磨世(6-3)

※ 男女共同参画、空手、バスケットボールの受賞については、9月号に掲載いたします。